



建築家 古市徹雄 講演会

テーマ

「Towards Nature 走向自然」伝統とハイテック



20世紀初頭から始まったモダニズム（近代建築）は等しく近代の恩恵を世界の隅々まで与えようという使命のもと世界中に広まった。

しかし20世紀末になると資本主義に飲み込まれ多大なエネルギー消費、GNP競争による格差、そこから生じる不幸、地球環境問題などが生まれついに現代の建築は行き場を失い今、未来に導いてくれる建築・都市の新しい様式が模索されている。

槇文彦氏がその著「漂うモダニズム」で指摘されたようにこれから沖縄の、日本の、世界の建築はどこへ向かうのか？多くの海外でのプロジェクト、海外での建築教育、JIAマガジンでの他分野の専門化との多くの対談、今マスコミからも注目される新国立競技場問題から見えてくるもの等の豊富な体験、自らの建築実践を通し世界で起きている新しい建築デザインの傾向、生まれ来る21世紀をリードする新しいデザインを予言する。



古市 徹雄

1948年福島県生まれ。1973年、早稲田大学工学部建築学科卒業（卒業設計最優秀賞村野藤吾賞受賞）
1975年、早稲田大学大学院理工学研究科修士課程終了
同年、丹下健三都市建築設計研究所入所（11年間在籍、国内外のプロジェクト多数）
1986年アーキテクト・ファイブ設立。1988年、古市徹雄都市建築研究所設立
2001-2013年千葉工業大学建築学科専任教授
2010-2011年東京大学、清華大学、ロンドン大学バートレット校、ミラノ工科大学、トリノ工科大学等、各大学院の客員教授を務める
2009年-ブータン王国の建築アドバイザー

代表作品・活動

屋久杉自然観、宮沢賢治イーハトーブ館、北会津村役場庁舎、棚倉町文化センター、栃木県立なかがわ水遊園、花巻体育館、長崎ピースミュージアム、長崎県浄土宗九品寺本堂・納骨堂、鹿児島県始良総合運動公園体育館、六花亭ホール、真駒内・札幌など受賞歴多数。

海外プロジェクト、海外での教育、海外での研究調査、海外ワークショップ等で104ヶ国滞在、訪問

日時 平成26年6月2日（月） 18：00開場 18：30開始予定

会場 沖縄ガス株式会社 本社4階会議室

沖縄県那覇市西町3丁目13番2号

主催 公益社団法人 日本建築家協会（JIA）沖縄支部

後援 沖縄ガス株式会社

入場無料 定員 最大100名

※ 定員数を超えた場合、已む無く入場をお断りする場合がございます。ご了承下さい。